発行所　城北学園同窓会
〒174-8711　東京都板橋区東新町2の28の1
TEL　03（3956）3157～9番
平成20年3月15日発行
編集　城北学園同窓会編集室
印刷　共立速記印刷株式会社

# 城北同窓会報

## 校訓

着実　勤勉　自主

# 鐵野体制になって活性化に拍車

## 19年6月2日は250余名が参集 定時総会と第7回ホームカミングデイは成功裏に終了

### った重大事項が盛り込まれた。

昨年6月の定時総会以後、これまで7年間会長を務められた杉崎完夫氏（旧2回生）から、鐵野善資会長（7回生）に体制が変わって、同窓会は益々活性化に拍車がかかっている。その成果は本誌記事をご覧になってもお判りであろう。

昨年行われた総会の大きなテーマは8項目に渡り、冒頭にも述べた会長交代人事をはじめ、学校との協調性をたかめる大町山荘改修資金助成並びに募金活動、更には近藤薫明先生記念奨学基金の始動、そして活性化へと導く規約の大改正といった重大事項が盛り込まれた。

2007年総会風景上と下は新会長挨拶

本年度の城北学園同窓会の定時総会は、6月2日(土)本校大講堂において250余名が参集、盛大に執り行われた。

はじめに、佐藤武久幹事長（9回生）の司会で杉崎完夫会長、帖佐正雄学校長、加藤健治学園長、下島弘PTA会長の順で挨拶が行われ、先の4月28日の常任幹事会で採択された議案が順次説明され全員一致で議決された。

①平成18年度事業および活動報告
②平成18年度決算報告
③監査報告

上記3議案については一括審議がなされた。①については吉田正美副会長（8回生）から配布資料に基づき報告され、②については瀬戸川睦人副会長（13回生）より同じく配布資料に基づき報告された（4頁参照）。次いで、森田健監事（4回生）より収支報告書が相違ない旨の会計監査報告が行われた。

④平成19年度事業および活動計画

配布資料に基づき吉田副会長から説明があった。なお、大町山荘改修資金助成に関連して学園から設計を委託されている宮崎均氏（25回生）からパネル等を用いての改修の内容説明があった。また、杉崎会長から改修資金として同窓会から5000万円を提供することの同意が求められ全員の賛同を得た。

⑤近藤薫明奨学基金

杉崎会長から説明。学校の理事会で承認され、評議委員会で決定、9月1日より実施。

⑥平成19年度予算

瀬戸川副会長より説明。大町山荘改修助成金5000万円を差し引いて、繰越金は4千667万7765円となる。

⑦同窓会規約改正

全員の賛同を得て、杉崎会長より発効宣言がなされた。

質疑応答のあと

⑧会長人事について、遠藤隆司副会長（7回生）より鐵野善資（てつのよしすけ）氏への会長推薦の辞があって、全員の拍手によって承認され、杉崎会長の勇退と共に会長職のバトンが鐵野氏へ手渡された。

新会長の第一声は、本会で議決されたことの重大性が述べられ、偏に本会の活性化が力説された。

このあと、地下大食堂で懇親の宴がもたれた。

（遠藤隆司記）

## 新会長の要請で臨時常任幹事会の開催（10月27日）

平成19年10月27日（土）午後、学園内に於いて、臨時常任幹事会が開かれた。出席者総数32名。新会長の鐵野氏が常任幹事会の活性化を目的として要請した初の臨時会議であった。（写真左）

会議は理事会運営に関わる質疑が多く提起され、新会長の狙いとした活性化の為のアイディアや方策等は煮詰まらず、今後に十分検討されることが約束された。

32名の出席者は、鐵野善資新会長他3名の副会長、監事、幹事長、副幹事長2名、新任副幹事長2名、理事7名、新任理事1名と、左記の常任幹事の方々である。

出席常任幹事

杉崎完夫（旧2回生）海老利喜雄（旧2回生）小野澤知治（4回生）矢田英明（4回生）道正太郎（5回生）岩崎定良（6回生）渡邊幸雄（7回生）中山晏（7回生）木村文雄（7回生）恩田正春（7回生）高野昭夫（8回生）関根忠夫（9回生）藤巻英雄（12回生）小宮仁（30回生）飯野恵樹（32回生）岡地優司（38回生）渋谷隆之（53回生）吉田陽一（55回生）（佐藤武久記）

## 会長挨拶

# 同窓会の活性化を目指して

### 会長　鐵野　善資（7回生）

私が会長に選任されてやがて10ヶ月になります。最初の理事会で、2年間の展望を理事諸氏にお話しました。そして、現段階では、必要と考えられる事項から検討し、できるところから実行しています。昨年10月末の臨時常任幹事会で、同窓会運営についての構想をお話し、ご意見・ご提言等も伺いました。

常任幹事会が今後の同窓会全体の活性化の中心的存在であるということをお伝えしました。従来の同窓会では、年齢の比較的高い方々が集まるものと感じられてきたと考えますが、今後は、すべての年度会が、毎年、定期的に開催され、同窓会員各位が年に一度の総会、ホームカミングデイの機会に、年度を超えた交流の輪を広げられたらというのが、私の根本構想です。

新しい同窓会規約に基づき、常任幹事会の組織をすっきりとしたものにして、各年度会の意思を反映する会長公選制の母体にしたいと考えます。

ホームカミングデイも多くの会員が集う場であり、大学別、運動部系列、文化部系列、職域等多のミーティング・ポイントを設けて、城北学園に学んだ我々が、種々の機会を通じて、年々歳々その輪を広げ、深く根を張っていける場を作りたいのです。

最後になりましたが、同窓会各位のご協力を得た大町山荘の改修も順調に進み、完成の日も間近に迫っています。また、長年の懸案であった近藤薫明奨学基金の運用も予定通りに始まりましたことをご報告しておきます。

今後とも同窓会の活性化に積極的なご協力・ご支援賜わりますよう、すべての会員にお願い申し上げます。

## 理事長挨拶

# ご縁を何時までも大切に

### 理事長　薗口　穣

冒頭、先ずこの度の大町山荘改修に際して、同窓会の皆様から後輩諸君のためにご支援ご協力賜わりましたことを厚く御礼申し上げます。

「ご縁」という言葉があります。「関わり合い」や「ゆかり」を意味して使われます。人生で最も多感な青春時代を、共に城北学園で学び尊い師に出会い、多くの優れた友との繋がりを得て、それは金銭には換えられない生涯の財産であり、まさに「ご縁」です。

このご縁を共有する仲間が今や3万人を超え、城北学園同窓会が益々ご発展を遂げておられますことを心からお慶び申し上げます。

城北学園の特性は、年代は違っても、皆が同じ建学の精神と教育理念の下で、永年勤続される同じ先生に学ぶ、そんな共通体験が、恰も一家における兄弟の様に先輩と後輩を結ぶ強い絆となって、幾世代も途絶えることなく連綿と続き、そして、そこに参加することが憧れであり誇りであり、何よりの魅力なのです。

まさに私立校という集団は、学びをテーマに集う血縁的な親身な関係で結ばれた共同社会・準拠集団であります。

お互いにこのご縁を何時までも大切にしたいものです。

皆様のご健闘切に祈ります。

## 理事誕生

# 新任と再任

平成20年に入って、3人の新しい理事、谷本秀男氏(10回生)多昌英成氏（19回生）と大澤一司氏（33回生）が理事会で承認された。尚、かつて理事であった道正太郎氏（5回生）と石橋武典氏（7回生）の再就任を要請中である。

## 『大町山荘改修資金募金の経過報告』

昭和40年竣工以来、城北学園の根幹と成す城北魂の涵養及び日常生活の最も大事な基盤を修得する場として建設された山荘も齢すでに40数年。

中学1年生から高校3年生までの特定された幾つかの学年を対象にさまざまな行事が実施されてまいりました。

校訓とされる「着実・勤勉・自主」の3訓を体験し、訓練する場としては誠に地の利を得た素晴らしい緑の自然環境の中にあり、また黒部ダムを始めとする各種の近代的建造物等の見学が容易に叶う絶好の地でもあります。が、山荘の傷みは今後の継続使用には耐えられない状況にありました。

学園創立65周年記念事業の一環として始められた山荘の改修工事も完成間近です。

昨年の同窓会総会に於いて承認された山荘改修募金の現在状況を報告し、更なる募金協力をお願いする次第です。

（平成20年1月19日現在）

募金総額　¥4、432、000円　総人数　559名

（佐藤武久記）

# 今年の「定時総会」のお知らせ

日時　平成20年6月7日(土)　午後3時30分より

会場　城北学園　講堂

## 第8回ホームカミングディのご案内

場所：城北学園地下大食堂

総会終了後開催します。

記

招待対象回生

第6回生(昭和28年度卒　1953年度)
第7回生(昭和29年度卒　1954年度)
第8回生(昭和30年度卒　1955年度)
第18回生(昭和40年度卒　1965年度)
第28回生(昭和50年度卒　1975年度)
第38回生(昭和60年度卒　1985年度)
第48回生(平成7年度卒　1995年度)

今年は第8回目で、8・18・28・38・48の各回生を主役とするホームカミングです。なお、昨年お呼びしなかった6・7回生も対象と致しました。対象回生外の方々もどうぞご参加ください。また、今年から部活動OB会にもご利用いただきたくホームカミングにミーティング・ポイントを設けました。

皆様のお出をお待ちしています。

ベーカリーサンコー
三興製パン㈱
代表取締役　竹宇治登志雄（36回生）
〒174-0076 東京都板橋区上板橋2-31-16
南口商店街 TEL 03-3933-0827
（本社）〒174-0076 東京都板橋区上板橋1-17-21
TEL 03-3933-1673 FAX 03-3933-2371

24時間御用命承ります
八光運輸株式会社
代表取締役　関根忠夫（9回生）
〒174-0046 東京都板橋区蓮根3-21-1
TEL 03-3960-7683㈹ 休日・夜間 03-3961-8181
FAX 03-3960-7561 携帯 080-6556-3548

学割もございます
大小ご宴会にどうぞ
中国料理 ニュー上海
〒174-0076 東京都板橋区上板橋2-35-13
南口名店ビル2F
TEL 03-3931-2381

Total fashion shop
キタムラ
北村 實（16回生）
㈲キタムラ靴店
〒174-0071 東京都板橋区常盤台4-31-3
TEL 03-3933-3766（上板橋北口正面）

すき焼 しゃぶしゃぶ フランス料理
吉寅（よしとら）
明治10年創業
代表取締役　吉﨑秀夫（9回生）
〒350-0062 川越市元町1-9-3
TEL 049-222-0102 FAX 049-224-8055

# 城北男子団体がV

## 現役生から将棋王者が誕生　団体戦で全国優勝の快挙

昨年夏、「第43回全国高等学校将棋選手権」（文化庁・全国高等学校文化連盟主催）が島根県出雲市で行われ、わが城北高校の３人の生徒が団体戦で初優勝という快挙を成しとげた。ここに、その一部始終を司書教諭の岸政男顧問からお伺いした。

全国高等学校の総合文化祭の一環として行われたこの将棋大会は、鹿児島県を除く46都道府県の176校から364人が参加、男女別の団体戦、個人戦で争われ、最終予選は４連勝と３勝１敗組から決勝トーナメントに進んだ。

団体戦の城北選手は、主将の板谷孝寛君（３年・六段）山川達也君（３年・四段）、浅井広希君（１年・五段）の３人で、決勝までの対戦相手は別掲の通り。城北は、前年の覇者鳥取西高に２勝１敗、決勝の青森高にも２勝１敗で栄冠を勝ち得た。岸先生は「生徒たちの自主性と日頃の努力が実を結んだんでしょう。３人共中１から部活をやってきて、高校生になって急に強くなりました。本大会では、浅井君がラッキーボーイでしたね」と。

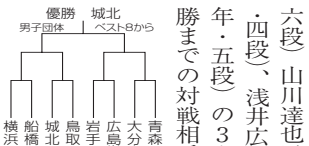
その浅井君は全国新人戦東京大会予選で個人優勝も為し遂げている。四段格の岸顧問も「もう彼らにはかないません」と微笑んだ。

**浅井選手は秋田での全国新人戦に**

年明けの１月24日から26日まで、秋田県で「全国大会新人戦」（高２以下）が行われ浅井君が出場、94人中ベスト32まで残ったが惜しくも敗退した。でもまだ２年間あるので、これからが楽しみである。

（遠藤隆司記）

▲左から板谷君、山川君、浅井君と後ろは岸顧問




## 同期会　12回生の同期会が、昨年に引き続き池袋で再会

奥出隆之（12回生）

昨年の10月１日（日）に池袋「かんぽヘルスプラザ東京」に集結した12回生のメンバーが、今年もまた去る12月１日（土）に池袋西口の東明飯店に多数集まった。（写真）代表幹事の竹内捷郎君ら幹事の方々の地道な苦労のお陰である。ゲストとして昨年の鳩貝先生、矢沢先生、江口旻先生に加えて、石丸先生が新たに参加された。いまでも若々しく元気な先生方を囲んで、昔話に、あるいは現況報告にと話題は尽きず、今年もまた同期会は大変な盛り上がりを見せ、時の経つのも忘れさせた。卒業以来、約半世紀の時を経て、人生様々な歴史を刻んできた同期生達が、遠い昔の青春時代にタイムスリップ。名残尽きない楽しいひとときは、心に残る人生思い出の２頁目となった。来年の再会を誓いつつ、校歌を歌ってようやくお開きとなった。

## Book紹介

### 「雲滾（たぎ）るマカッサル」

（冬花社刊）

内藤幸雄著（旧２回生）

著者は30年前、インドネシアのセレベス島の州都マカッサルに単身赴任し合弁会社の社長をつとめた。赴任中の３年間に訪れた島々の思い出を東南アジアの歴史を加えながら語っている。それを可能にしたのは、著者の膨大な読書量である。

ヨーロッパ人が香辛料を求めて姿を見せたとき、この海域を支配していたのは、セレベス島に住む海洋、交易民族のブギス人だった。インドネシア語がブギス語を母体として成立し、マレーシアの王侯がいずれもブギス人の後裔であるとか。中国、ヨーロッパに比べ無知にひとしい東南アジアの歴史に世界史的広がりがあることを教えてくれる本である。

（稲垣靖男（旧３回生）記）

## 同窓会は、同期会活動を応援いたします。同期会活性化に費用補助

鐵野会長就任以後、理事会では、同窓会活動の活性化に向け新たな発想により会員の皆様がだれでも母校及び同窓会への関心を持って戴くような行事、会費の使い方を検討しております。

その一つとして、会費の使い方として、各卒業年度の同期会の開催を促し、その出席者増を図る為「同期会開催往復はがき代（100円）及び宛名シール」の補助を検討しています。理由は、個人情報保護法施行に伴い、名簿作成配布が困難となった為、終身会費分の一部4500円を上限として還元するものです。

各同期会が益々盛んとなり、この補助が、本年度計画より先行発進できたらと理事会一同願っています。各年度の幹事様は、理事会宛ご連絡下さい。

（若井裕康記）

## 弓道部50周年式典に　古式ゆかしい「流鏑馬」演舞

弓道部の50周年式典は昨年10月７日、本校弓道場において、OB会員他現役部員、父母など200人の参列者のもとに行われた。式典に先だって、伝統的小笠原流教場の松本昭正氏（20回生）の流鏑馬射手が披露され（写真）古式に範った装束に身を固め、稽古用の木馬から的の柾目板を射手して参列者の喝采を浴び、その木片の一つは、同窓会にも縁起物として贈られた。

弓道部の現部員は80人、OB会員共合わせて600人おり、同窓会強化の一つはこの種のクラブOBへの参画呼び掛けの必要性を再認識させられた。

式典終了後は学園食堂において祝賀会も行われ、和やかな懇談の輪が広がった。特に気勢が上ったのは、同クラブOBの星野章さん（18回生）率いる和太鼓の一団が景気付けに撥音激しく華を添えた時であった。

（遠藤隆司記）

▲「流鏑馬」演舞

## グリークラブは今年50周年　7月には銀座で定期演奏会も

城北学園グリークラブは1958年に音楽科の笹倉強先生と音楽選択者の有志によって発足しました（当時の名称は城北高校合唱部）。その後、合唱部OBでもある山口祐二先生が1981年に顧問指揮者を引き継ぎ、現在では中学生部員も交えて演奏活動を続けています。

創立50周年を迎え、OB数も500名超となった今年は、OB会で記念CDと記念誌の制作を計画しています。また、7月21日に銀座ブロッサム（銀座中央会館）で開催される第43回定期演奏会では、OBも賛助出演し現役と合同演奏をするとともに、OB単独ステージでは、笹倉先生の指揮により「月光とピエロ」を歌います。

演奏会後には50周年記念パーティも開催する予定ですので、ぜひ多数のOB、同窓生の皆様にご来場をいただき、旧交を温めていただければ幸いです。

（藤沢高夫記）

▲メンバー合唱風景

## 紙上ギャラリー展　OBたちの作品4題

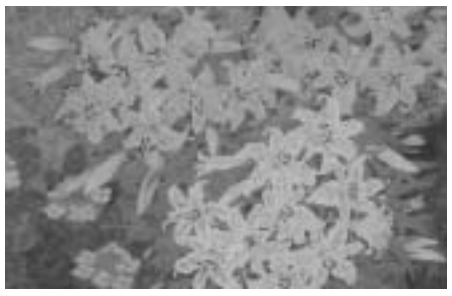
昨年の秋から暮にかけて城北ＯＢ皆さんの絵画、彫刻、写真等作品展がいくつかあった。日本画院展、日展、そして写真の個展を催されたお２人の作品を併わせて紙上展の形で採録してみた。（遠藤隆司記）

### 彫刻　日展　山田朝彦さん（14回生）

▲女性像「眼指」

さんは彫刻家で、昨年国立新美術館で開催の日展（11／2～12／9）では「眼指」の表題で女性の石膏像を出展。（高さ160㎝）これを制作するきっかけは、東京大学博物館にある9千年前のメソポタミア人が自分がいじる同じ粘土で作った土偶を見て触発されたというのだ。遠くを見据えた女性像に託した作者の心の行く先は、9千年前の土偶を作った古代人の視点と同じ思いではないかと山田さんはいうのである。芸術家の思いは遠くて深い。

### 絵画　日本画院展　高田俊一さん（14回生）



▲山百合を描いた「山粧」

高田俊一さん（14回生）の画業は40年になる。サラリーマンを務めながら、日本画院に所属。昨年秋の東京都美術館での日本画院展には「山粧」を出展。山がお化粧したようなイメージの絵なのだそう。30号のキャンバスに山百合がいっぱいに咲き誇っている。

「普段は、絵の他に俳句、文学、ダンスと趣味が多くて困ります」とご本人の弁。

同じく、14回生の山田朝彦

### 写真　小平博之さん（13回生）

小平博之さん（13回生）の写真展は昨年暮の12月17日～22日迄の６日間池袋東京芸術劇場展示室Ⅱで行われた。タイトルに斉藤茂吉を謳い山形県の最上川の冬景色を中心に展示されていた。最上川を撮り続けて40年になるという。

小平さんは、城北を出てから青山学院大を卒業後、商業写真、建築写真家として活躍してこられた。山形はご両親の出身地で茂吉の短歌に魅かれて最上川をライフワークの写真にしていると。「短歌を添えてなければ、ただの写真ですよ」とご本人は謙遜する。

『横ざまにふぶける雪をかへりみむ　いとまもあらず橋をわたりつ』（茂吉「白き山」より）

▼橋を背にマントの女性

### 写真　道正太郎さん（5回生）

▲カタログの表紙より

道正さんは長いこと「週刊新潮」の社会派報道カメラマンとして活躍されてこられた。その間に記録されたカットは数万点に及ぶ。銀座の兜屋画廊での個展（昨年は12月４日～16日まで）は年一度の恒例になっていて、その都度テーマを変えている。

各界の人物スナップも数多く撮っているが、今回は社会現象を情景（状景）にしたものに絞って展示されていた。

自家焙煎
次男房珈琲
坂口　あきとも（24回生）
〒174-0043 東京都板橋区坂下1-5-2
TEL･FAX 03-3960-4105
E-Mail jinanbou@proof.ocn.ne.jp

東京湾直送のネタ提供
江戸前 若宮寿司
西野隆夫（13回生）
〒272-0811 千葉県市川市北方町４-1840
TEL 047-339-0039

再生資源取扱リサイクル業
㈲村田商店
代表取締役　村田　稔
（９回生）
〒106-0031 東京港区西麻布2-11-8
TEL 03-3400-3349　FAX 03-3400-2528

2007年春　黄綬褒章　受章
皆様に心より感謝申し上げます
西村運輸株式会社
代表取締役　西村信雄
（６回生）
〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町3-5-8
TEL 03-3925-4181㈹

東上線名物
中国料理　丸栄
大小ご宴会（５～40名）受付け中
代表取締役　大月正男
（19回生）
〒174-0076 東京都板橋区上板橋2-31-1
TEL&FAX 03-3934-1617

# 「総会と懇親会」ホームカミングディ パチリ！スナップ集

平成19年度第7回ホームカミングデイは総会終了後、直ちに大食堂に会場を移して250余名を集めて開催されました。夏目暢之副幹事長司会のもと鐵野新会長の冒頭の挨拶と笹川俊明教頭の乾杯で始められ、各テーブルには歓談の輪が広がりました。今回は特に旧制1回生から5回生までと、新制1回生から5回生まで、それに43回生から47回生までをご招待し、今回をもってホームカミングデイが一巡したことになりました。

（写真／遠藤隆司、石川雅弥）

▶旧制の皆さん

▶佐藤幹事長（左）、山口顧問（右）と合唱部員の皆さん

▶鐵野新会長を囲んで7回生集合

▶OB教職員の皆さん

▶ラグビーの話に花がさく元ラガーマン

▶吉田副会長（左）と8回生

▶夏目副幹事長（右）と石川理事

▶加藤学園長（右）と若井理事

## ″いま、なぜ百済か″第2弾
# 白村江戦以降
## ―日本は初めて国難に遭い危機管理を迫られる―

瀬戸川　睦人（13回生）

危機管理の重要性が叫ばれ始めたのは10数年前からである。天災、人災、事故、テロ、戦争等、突然の災害に備える必要性が増したからに他ならない。危機の状況や緊急度により臨機応変の対応が必要となるが最近始まった事ではない。とりわけ戦争は国の運命を最も大きく左右する。我国は有史以来何度も国難に直面してきた。1350年前に初めて厳しい国難に晒された。

### 百済の滅亡と東アジアの地政学

斉明6年（AD660）、百済は唐・新羅連合軍によって王都扶餘が占拠された。倭国は直ちに百済へ支援軍を派遣した。しかし天智2年（AD663）8月27～28日の両日に渡る白村江戦で倭国水軍は400艘の船を焼失して大敗する。百済復興の拠点、周留城に立て籠った倭国兵は復興軍将兵と運命を共にした。海外交流の大きな拠点として、約290年続いた友邦百済の滅亡である。予想外の大敗により精鋭の3割を失った倭国水軍は多数の亡命百済人を伴って半島より全面撤退の止むなきに至った。

将兵満載の引揚船が殺到する中、亡命百済王族・貴族等の受け入れも重なり那の津の浜では大混乱が発生したであろう。称制・中大兄皇子は驚天動地と茫然自失の境地に立ち至ったと推察する。（朝鮮）半島の南半分は唐・新羅連合軍支配下となった。遼東半島から半島北部を占める高句麗と対峙する2国時代が到来したのである。攻守所を変えて、唐・新羅連合軍の倭国侵攻に備える状況に陥った。

かつて推古大王の摂政・聖徳太子が最も恐れたのは大陸勢力（隋）の覇権である。その可能性は既に予測されていた。推古3年（AD595）、高句麗から渡来の慧慈は太子の学問の師となる。隋は高句麗侵攻の為、数度にわたり大軍を遠征させた。慧慈がこの高句麗の直面する国難・脅威情報を太子に伝えなかった筈は絶対に無いと考えられる。推古15年（AD607）、同16年（AD608）に派遣した遣隋使は単なる親善使節ではなく、半島侵攻政策の調査目的が含まれていた事は容易に推察される。半島が隋の支配下に入れば、次は倭国がその覇権の脅威を直接受ける事になる。

遣隋使や後の遣唐使が親善使節として交流していたかの様に伝えられるが、実態は単純な交流ではなかった。大陸国家の東端に位置する倭国が如何にして独立を守り続けるか不断の努力が傾けられていた。この東アジアの地政学、外交関係の諸問題は今日の視点では如何に解釈できようか!!

### 国境の誕生と防衛整備

唐・新羅連合軍による倭国侵攻が現実的となってきた。対馬に防人を配置、烽火を設置、金田城が築かれる。地理的、軍事的にここが最前線となる。併行して第2戦線が九州に水城、大野城、基肄城、阿志木城、長門に長門城等が築かれていく。九州と半島間は壱岐、対馬経由で往来が活発であった。今日で言う国境の概念は乏しかった。築城によって対馬と半島間には必然的に防衛線が引かれた。これが今日に至る国境線である。正しく国境の誕生となった（天智2年）。

城郭は総て今日で言う朝鮮式山城である。攻防に適した山地を選び山頂付近に円周状に城壁と土塁を築く。山頂はほぼ平らにされ兵舎、武器庫、食料庫が分散建設される。軍民共に収容され共同生活が可能となる。対馬、九州、瀬戸内沿岸を経由して東方500km離れた都に至る間各要所に山城が築かれた。総て共通の方式である。百済人の達率・答炑春初、憶礼福留等が築城に従事したことが『書紀』に見られる。実戦経験ある百済の将軍であろう。特に石積は百済様式の優れた築城技術である。一方、倭国の土木技術集団が総動員されたと考えられる。

かつて、前方後円墳が全国的に5200基も築かれた。3世紀中頃からわずか350年間にである。その後は全く築かれない不思議な運命を辿っているが、土木技術が継承された。降雨量が多い倭国ではとりわけ、土砂流出防止技術は重要であった。これ等の技術が総合的に結実したものと考えられる。

『書紀』には阿志木城の記述はないが、筑紫大宰の南方を防衛する位置にあって、最近発見された。学術調査中であるが筆者も現地調査により水門を目撃している。長門城は現在位置不明とされるが、現地調査により長門国府を囲む火の山、霊鷲山、四王司山の三山が一体となって長門城を形成したものではと推察している。

### 講和の成立と律令建国

天智3年（AD664）には唐の使節・郭務悰がやってきた。対高句麗への派兵要求があったかもしれない。講和外交であろう遣唐使が3回派遣されている。講和会議は決して容易なものではなかったと考えられる。

この間、防人の配置、烽火の設置、築城、インフラ整備、大津の宮へ遷都と矢継早に政策が発せられた。巷では民衆の不満が増大し放火事件が頻発、官の建造物が狙われた。社会不安で揺れていた。

摠章元年（AD668）、高句麗は泉蓋蘇文死去の後、後継者争いの好機を利した唐・新羅連合軍により滅亡された。次は倭国侵攻か…直接の脅威が刻一刻と迫ってきた。倭国の運命は如何に…!! しかし、幸運なことに百済滅亡時より芽生えた軋轢と不信感は新羅を反唐へと追いやる。やがて軍事衝突へ進み唐は新羅領、高句麗旧領の半分から撤退を余儀なくされていく。

天智10年（671）11月に至り、唐の使節・郭務悰が1400人（捕虜）を伴って那の津へ来航した。これが最終的な講和使節と見て間違いない。開戦から11年間、唐軍の倭国侵攻に怯えた国難の日々であった。講和成立直後の同年12月、天智大王は空しく薨去された。

壬申の乱の激動を経て天武大王の元で、律令整備を進め我国の礎を固めて行くのである。やがて日本国号・天皇称号が確立されていく。「百済の役」は日本国建国の引き金になったとしても過言ではあるまい。

昭和天皇は終戦の1年後（AD1946）、3人の首相経験者を呼んだ。1年前の終戦工作の苦労を労いながら、天智天皇の胸中を推し量り往時を偲んだといわれる。

▶金田城から見る国境線（浅茅湾の向こう）

◀金田城、一の城戸

▼金田城の水門

十三越商事㈱
トミコシ会館
代表取締役　荒井政雄（7回生）
〒175-0082 東京都板橋区高島平1-79-3-101
TEL 03-3935-9710㈹ http://www.tomikoshi.co.jp
5F ビアガーデン トミコシ（夏季のみ営業）
4F トミコシ 高島平ボウル
3F トミコシ 高島平ボウル
2F 中国料理 王華
1F 十三越商事㈱・事務所 Parlor HUNTER

社団法人 東京都宅地建物取引業協会会員
三井住友海上火災保険㈱代理店
㈲南雲商店
代表取締役　南雲芳憲（24回生）
〒174-0064 東京都板橋区中台3-3-8
TEL 03-3933-1681（不動産部）FAX 03-3935-0682
E-mail : y-nagumo @jcom.home.ne.jp

おのざわ歯科クリニック
ONOZAWA DENTAL CLINIC
院長・歯学博士　小野澤　智史（36回生）
〒174-0071 東京都板橋区常盤台4-21-2
TEL 03-3931-8100（上板橋北口）

中台ゴルフセンター
●6名の充実したスタッフで各種ゴルフスクール好評開催中
代表者　髙野昭夫（8回生・野球部OB）
〒174-0044 東京都板橋区相生町19
TEL 03-3932-1194 FAX 03-5398-1990

# 近藤薫明奨学基金いよいよスタート
## 帖佐校長と鐵野会長が墓参報告

12月22日、帖佐校長と同窓会代表一行が武州長瀬『武蔵野霊園』に眠る故近藤薫明先生へ報告墓参を行った。同窓会から鐵野会長、杉崎前会長が参加した。平成19年9月4日付で近藤薫明先生記念奨学基金（以下、近藤基金）の募集が行われ10月27日、多数の応募者の中から受給苦学生5名が誕生した報告です。霊園の高台に位置する先生の墓所は見晴らし良く眼下に武蔵野平野が広がっている。同窓会史に特筆すべき爽やかな一日でした。

近藤先生は「人間形成」「大学進学」を2本柱として学校の組織を構成し、永年培った建学精神と厳正な校風を固く守って私達に接して下さった。家が貧乏なるが故に学園を去らざるを得なかった生徒に思いを馳せこの救済を生涯の願いとされた。退職金より寄付された1000万円を基に、先生を慕う旧制・新制初期の卒業生を中心に教職員の協力も得て浄財が集められた。総額3800万円となる。しかし、昭和58年4月に設立された近藤基金は種々の事情、経済不況等により金利果実の奨学支援が不可能に陥っていた。文部科学省による法改正や同窓会一同の粘り強い活動と可能な限り早期実施との希望を入れて、年度半ばの9月募集・10月選考、漸く近藤基金の給付開始となった次第である。

（瀬戸川睦人記）

▲左より杉崎前会長、帖佐校長、鐵野会長

## 大町山荘改修現場視察
### 瀬戸川　睦人（13回生）

11月4日(日)、現地視察実施。3人の作業員の許可を得て現場を見る。以下、要点報告。

**①概容**

＊屋根全体と正面ホール本体を除き、北・南棟は天井、壁、床除去。

＊風呂場・ボイラー室は完全撤去。建物はコの字型に残る。

＊コ型→ロ型部分の土台を鉄筋コンクリート・枠で建設中。

**②北棟・南棟**

＊床板、根太、床下柱新規交換の部屋有り。床、壁板は12mm合板使用。

＊床板、床下柱（東）の支えは自然石と捨てコン。

＊左右2段ベッドの支柱に4寸角檜材2本使用の室有り。16本待機。

**③所見**

＊全体として築40年の割に構造材は良好。土台の高さ1～2・5m

＊土台の角材4寸角、オス・メス繋ぎ。比較的良好。

＊床下は撤去済みの部屋が多く、かなり老朽化が進んだと推察。

＊筋交い周辺の造作はヤッツケ。

＊古い建築基準法か、構造材の交差点に金具無し。以降は絶対に必要。

**④欠陥**

＊屋根は原形通りなので、屋根の雪下ろしは重要課題。洋注意!!

＊コ型→ロ型に変更されたので、中庭の除雪法が無い。温泉湯？

## 平成19年度大学入試結果

平成19年4月20日現在

◎国公立大学

| 大学名 | 合格者数 | 現役人数 |
|---|---|---|
| 北海道 | 2 | 1 |
| 東北 | 2 | 2 |
| 筑波 | 4 | 1 |
| 埼玉 | 1 | 0 |
| 千葉 | 15 | 5 |
| 東京 | 17 | 11 |
| 東京工業 | 18 | 8 |
| 一橋 | 14 | 8 |
| 東京医科歯科 | 2 | 1 |
| 東京学芸 | 1 | 1 |
| 東京農工 | 9 | 4 |
| 電気通信 | 3 | 2 |
| 横浜国立 | 8 | 6 |
| 京都 | 3 | 2 |
| 大阪 | 5 | 4 |
| 神戸 | 1 | 1 |
| 首都大学東京 | 10 | 7 |
| その他国公立 | 15 | 7 |
| 国公立大学合計 | 130 | 71 |
| 大学総計 | 1,136 | 496 |

◎私立大学

| 大学名 | 合格者数 | 現役人数 |
|---|---|---|
| 青山学院 | 14 | 6 |
| 学習院 | 21 | 8 |
| 北里 | 8 | 5 |
| 慶応義塾 | 90 | 55 |
| 工学院 | 4 | 0 |
| 國學院 | 1 | 0 |
| 国際基督教 | 1 | 1 |
| 駒澤 | 8 | 2 |
| 芝浦工業 | 23 | 8 |
| 上智 | 29 | 17 |
| 成蹊 | 11 | 3 |
| 成城 | 9 | 2 |
| 専修 | 15 | 1 |
| 中央 | 73 | 33 |
| 東海 | 2 | 1 |
| 東京医科 | 4 | 1 |
| 東京電機 | 15 | 3 |
| 東京農業 | 19 | 2 |
| 東京薬科 | 5 | 3 |
| 東京理科 | 116 | 56 |
| 東邦 | 5 | 1 |
| 東洋 | 10 | 4 |
| 獨協 | 5 | 1 |
| 日本 | 65 | 20 |
| 法政 | 57 | 20 |
| 武蔵 | 1 | 0 |
| 武蔵工業 | 4 | 0 |
| 明治 | 107 | 46 |
| 明治学院 | 17 | 2 |
| 立教 | 57 | 31 |
| 早稲田 | 121 | 62 |
| 同志社 | 1 | 0 |
| 立命館 | 3 | 0 |
| その他私立 | 85 | 31 |
| 私立大合計 | 1,006 | 425 |

## 卒業生のお店訪問④
## 塩澤克彦氏（13回生）のお店
### サッカーファンには見逃せない串揚げ葱坊主（ねぎぼうず）

京王線の千歳烏山駅を下りて調布寄りの南口出口を出て30秒。駅の階段を上がったら看板が見える。向かって左手の2階。

塩澤氏がここに店を構えて22年。正に地元密着型の串揚げ屋さんである。お店の名前について、俳人秋山未踏の「葱坊主俺も俺もと並びかけ」に由来するとのこと。壁には「未踏いつは歌留多」が飾ってある。沿線の布田にあった日活調布撮影所が華やかなりしころは有名人もよく訪れたそうだ。

**『Yahooグルメ』では次のように紹介**

『ご夫婦2人で切り盛りされていて、渋いご主人と愛嬌のある奥様が絶妙のコンビです。夜は串揚げの他に、お刺身、焼き魚、その他単品料理に、おでん、とんかつまであって、居酒屋としても、定食屋としても利用できます。串揚げは、衣が薄くてぱりっとしていて、とてもいいお味。アスパラガスの串揚げは、串を使っておらず、丸ごと1本あげたのが出てきて初めての人はびっくりするかもしれません。値段は控えめなので、気楽に利用できるタイプのお店です。雰囲気は居酒屋的で、ごく普通ですが、こういうお店は肩肘張らない方がいいと思うので、これで十分ではないでしょうか。ランチもリーズナブルでロースカツ定食Mサイズ850円（消費税別）です。この値段からすれば十分な味でしょう。地元の人が気楽に利用するには知っていて損はないのではないでしょうか』

さて、皆さんは城北のサッカー部が全国大会や国体の常連であったころのことをご存知だろうか。塩澤氏が在学していた昭和30年代半ばは毎年のように出場している。昭和35年の熊本国体では、優勝した秋田商業には敗れたものの塩澤氏はエースストライカーとして活躍している。そして、その年、東京都の優秀選手のひとりにも選ばれている。

今回の取材に同行してくれた同じく13回生の安田正昭氏もサッカー部。2人の会話を聞いているとタイムスリップしてしまいまるで実況放送を聞いているようだ。当時の西宮競技場近くの「竹園旅館」が城北サッカー部の定宿であったそうだ。その旅館は今では巨人や中日の定宿となっている。

ランチは12：00～14：30、夜の部の最終オーダーは11：30。水曜日定休。東京都世田谷区南烏山5丁目17―11　電話03―3309―9273

取材・写真／石川雅弥

▲左がオーナーの塩澤氏、中央は同級の安田氏、右は筆者

## 杉崎前会長ご夫婦を慰労する会
### 池袋で役員16名が参集賑やかに懇談

7月7日夕、池袋の関西料理店「蔓」（いらか）にて前会長杉崎さんご夫妻をお迎えし慰労会が開かれました。新会長鐵野さんをはじめ、理事16名が集い和気あいあいと大いに盛り上がりました。発足当時の冬、裸電球で暖房もない小さな部屋に集まり膝を交えた事等も懐かしそうでした。

杉崎さんは平成12年4月に会長就任以来7年間に渡って活躍され、長い間休眠状態の同窓会を起動し組織の基礎を築かれました。最も力を注いだホームカミングデイは総会日に合わせて7回開催され、対象卒業生は一巡しました。これが契機となって各学年の同期会結成の動きが始まったと聞きます。

在任中、特に難題であった近藤基金の始動、大町山荘改修資金助成、規約改正等の実現には抜群の指導力を発揮され、私達に太いレールを敷設してくださいました。城北魂と共に同窓会は益々発展して参りましょう。陰で支えてくださった奥様共々深く感謝申し上げます。上写真は笑顔のご夫妻です。（瀬戸川睦人記）

## 叙勲　おめでとうございます

**○西村信雄さん**（6回生）は昨年5月黄綬褒章受章。運輸業界で40年間要職にあった功労に対して。「皇室の豊明殿で陛下にお目に掛かれた感激は生涯忘れられません」と。

**○荒井政雄さん**（7回生）は同じく春の叙勲で瑞宝双光章に輝いた。30年間板橋区の保護司として務められ、その功績を称えられたもの。現在十三越商事オーナーはじめ10を越す準公職を務められている。

**○江田昌佑さん**（昭和30年～33年迄本校体育教諭）昨年秋、瑞宝重光章を受章。城北ラグビー部で全国優勝時の監督。

## 編集後記

▼鐵野新会長の繰り出す新機軸には同窓会を活性化させる意気込みがある。今年のホームカミングにミーティングポイントを設けることや同期会の開催に当たっては、宛名シール作成と往復はがき代を援助することなどである。▼今回、無駄と効率化の徹底を図る意味でノートパソコンを導入、千通に及ぶ受取人不明の郵便物を整理した。▼大町山荘の完成記念式典が来る4月14日(月)に決定した。会員諸兄からの寄付協賛に御礼申し上げる。▼広告協賛者、執筆者にも感謝したい。（遠藤隆司）

## 平成18年度　同窓会決算書

平成18年4月1日～平成19年3月31日

（単位：円）

| 項目 | 18年度予算 | 18年度決算 | 差異 |
|---|---|---|---|
| 前期繰越金 | 96,327,365 | 96,327,365 | 0 |
| 収入 | | | |
| 平成17年度卒終身会費 | 3,610,000 | 3,790,000 | 180,000 |
| 平成17年度名簿代 | 1,624,500 | 1,705,500 | 81,000 |
| 雑収入 | 20,000 | 65,650 | 45,650 |
| 収入合計 | 5,254,500 | 5,561,150 | 306,650 |
| 支出 | | | |
| 旅費・交通費 | 450,000 | 486,700 | △36,700 |
| 交際・会議費 | 600,000 | 338,249 | 261,751 |
| 総会費 | 1,000,000 | 994,863 | 5,137 |
| 会報費 | 2,800,000 | 2,223,450 | 576,550 |
| 通信費 | 150,000 | 154,350 | △4,350 |
| 物品購入費 | 100,000 | 101,713 | △1,713 |
| 雑費 | 54,500 | 18,175 | 36,325 |
| 予備費 | 100,000 | 35,750 | 64,250 |
| 支出合計 | 5,254,500 | 4,353,250 | 901,250 |
| 当期剰余金 | 0 | 1,207,900 | 1,207,900 |
| 次期繰越金 | 96,327,365 | 97,535,,265 | 1,207,900 |

繰越金明細　三菱東京UFJ銀行　吉祥寺支店　普通預金　96,273,781円
三井住友銀行　常盤台支店　普通預金　1,261,484円
合計　97,535,265円

上記の収支報告書は監査の結果相違ないものと認めます。

平成19年4月　7日

監事　森田　健　印

監事　[illegible]　印

## 平成19年度　同窓会予算書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

（単位：円）

| 項目 | 18年度決算 | 項目 | 19年度予算 |
|---|---|---|---|
| 前期繰越金 | 96,327,365 | 前期繰越金 | 97,535,265 |
| 収入 | | | |
| 卒業生終身会費 | 3,790,000 | 卒業生終身会費 | 3,590,000 |
| 卒業生名簿代 | 1,705,500 | 卒業生名簿代 | 1,615,500 |
| 雑収入 | 65,650 | 雑収入 | 20,000 |
| 収入合計① | 5,561,150 | | 5,225,500 |
| 支出 | | | |
| 旅費/交通費 | 486,700 | 旅費・交通費 | 630,000 |
| 交際・会議費 | 338,249 | 交際・会議費 | 350,000 |
| 総会費 | 994,863 | 総会費 | 1,000,000 |
| 会報費 | 2,223,450 | 会報費 | 3,700,000 |
| 通信費 | 154,350 | 通信費 | 160,000 |
| 物品購入費 | 101,713 | 物品購入費 | 100,000 |
| 雑費 | 18,175 | 雑費 | 50,000 |
| 予備費 | 35,750 | 予備費 | 100,000 |
| | | （特別会計予算） | 50,000,000 |
| 支出合計② | 4,353,250 | | 56,090,000 |
| ①―② | 1,207,900 | | △50,864,500 |
| 次期繰越金 | 97,535,265 | | 46,670,765 |

平成19年4月28日　常任幹事会
平成19年6月2日　総会